

ニッセンケン【SIAA 抗バイオフィルム加工】認証の指定試験機関です

— キッチン等 水回りのぬめりを抑制し衛生的な生活環境確保のために —

キッチン・浴室の排水口周りや排水ダクトの内側等水回り等に発生する“バイオフィルム”。見た目が汚いだけでなく、衛生や人の健康にも影響を及ぼしかねません。一般財団法人ニッセンケン品質評価センターは、この抗バイオフィルム試験認証における指定試験機関となっています。暖かくなってくるこれからの季節、より衛生的な生活環境を確保するための抗バイオフィルム機能の評価試験のご依頼・ご相談は、ニッセンケンまでお気軽にご連絡ください。



【バイオフィルムとは】

バイオフィルムとは、微生物や微生物の細胞によって形成される多糖類、脂質、核酸からなる集合体です。水回りの排水口、シンクなどに見られる「ぬめり」や、歯周病などの原因となる歯垢としても知られています。住環境においてバイオフィルムが発生すると、不衛生なのはもちろん、管の腐食や水詰まりなどの問題が生じます。また、人体においては歯周病や慢性呼吸器感染症、糖尿病など様々な病気の原因の一つになることから、近年バイオフィルムを形成させない/付着させない加工を行った、『抗バイオフィルム性製品』への関心が高まっています。



排水口に発生したバイオフィルム。茶色がかった部分で、ぬめり状の物質

【ISO 4768 抗バイオフィルム試験の概要】

目的	製品の表面のバイオフィルムのできにくさを評価
対象製品	プラスチック、金属、ステンレス、ガラスなどの製品
試料	基本は 30mm×30mm の平滑な正方形 *無加工品と加工品を比較する。
試験方法	試料を菌液に浸漬した状態で 48 時間培養。試料上のバイオフィルムを染色し、吸光度計によって試料表面上に形成したバイオフィルムを定量する。
評価方法	抗バイオフィルム活性値 Anti-biofilm activity [R(%)] で評価。無加工品に比べてどれだけバイオフィルムの形成が抑制されたのかを示す値で評価する。 $R = (1 - W_{\text{treated}} / W_{\text{untreated}}) \times 100$ <small>W_{treated}: 加工試験片の吸光度の平均値 W_{untreated}: 無加工試験片の吸光度の平均値</small>

【詳細はこちら】

- ▶ 本試験に関するより詳細な資料(PDF ファイル/13 ページ)は、[こちら](#)からダウンロードできます。
- ▶ [バイオケミカルグループ特設サイト](#)では様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください。

本リリースに関するお問い合わせ先

最寄りの各事業拠点にお気軽にお問い合わせください。お問い合わせフォームからもお受けしています。

> [ニッセンケン事業拠点](#)



> [お問い合わせフォーム](#)

